

直近年度末現在のタクシー車両数が適正車両数の上限値を上回っている準特定地域のうち、次の（１）～（６）のいずれにも該当する営業区域を特定地域として指定。

（１）実働実車率が平成１３年度と比較して10%以上減少していること。 **該当状況【○】**

平成13年度 41.1% 令和２年度 22.2% （減少率）46.0%

（２）次の①又は②のいずれかに該当すること。 **該当状況【○】**

① 当該営業区域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計のうち、タクシー事業に係る営業収支率が100%を下回る事業者が当該営業区域内の営業所に配置するタクシー車両の台数の合計が占める割合（以下「赤字事業者車両数シェア」という）が1／2以上であること。

② 赤字事業者車両数シェアが1／3以上であって、前年度と比較して赤字事業者車両数シェアが10ポイント以上増加していること。

令和元年度 33.9% 令和２年度 97.2% （対前年差）63.3ポイント

（３）人口30万人以上の都市を含む営業区域であること。 **該当状況【○】**

豊田市 42.4万人 岡崎市 38.5万人

（４）総実車キロが前年度と比較して5%以上増加していないこと。 **該当状況【○】**

令和元年度 9,149,363 km

令和２年度 4,905,689 km （増加率）-46.4%

（５）次の①～③のいずれかに該当すること。

該当状況【○】

- ① 日車営収又は日車実車キロが平成13年度と比較して10%以上減少していること。

【日車営収】

平成13年度 31,452円 令和2年度 22,688円 (減少率) 27.9%

【日車実車キロ】

平成13年度 80.5 km 令和2年度 47.2 km (減少率) 41.4%

- ② 当該営業区域における走行100万キロ当たりの法令違反件数の直近5年間の平均値が、全国における走行100万キロ当たりの法令違反件数の直近5年間の平均値を上回っている

(尾張北部交通圏) 0.0084件 (全国平均) 0.0549件

- ③ 当該営業区域における走行100万キロ当たりの事故発生件数の直近5年間の平均値が、全国における走行100万キロ当たりの事故発生件数の直近5年間の平均値を上回っている

(尾張北部交通圏) 8.099 件 (全国平均) 7.769件

（６）当該営業区域における協議会の同意があること。